

會議は踊る (1931)

DER KONGRESS TANZT
CONGRESS DANCE

メディア 映画
ジャンル ミュージカル ドラマ
製作国 ドイツ
色彩 B&W
時間 84分
初公開日 1934/01
公開情報 東和

【解説】
トーキー初期のドイツ映画が面白い。ナチズムに染まる前の、いわゆるワイマール文化の爛熟を感じさせるからだ、とりわけオペレッタ映画に秀作が多く、中でも本作の楽しさときたら……。ナポレオン失脚後の欧州の情勢に対処する1814年のウィーン会議が華やかな宴“レセプション”に明け暮れ“會議は踊る、されど進まず”と呼ばれた事実から、ロシアのアレクサンダー一世が替え玉を使って、公式行事と手袋屋の娘とのお忍びの恋を巧みにこなすのを軽妙にロマンチックに描く。主題歌『ただ一度だけ』はどなたも聞き覚えがあるだろう。娘に扮した可憐なL・ハーヴェイはこれで一躍国際スターとなったが、第二次大戦勃発で母の祖国イギリスに渡り、そのまま引退してしまったかぐや姫みたいな人。99年に95分の「ドイツ語完全版」がビデオ・リリースされた。

【クレジット】			
監督	エリック・シャレル	Erik Charell	
製作	エリッヒ・ポマー	Erich Pommer	
脚本	ノルベルト・ファルク	Norbert Falk	
撮影	カール・ホフマン	Carl Hoffmann	
編集	ヴィクトル・ゲルトラー	Viktor Gertler	
音楽	ウェルナー・リヒャルト・ハイマン	Werner Richard Heymann	
	フランツ・グローテ	Franz Grothe	
出演	ヴィリー・フリッチ	Willy Fritsch	アレクサンドルー世
	リリアン・ハーヴェイ	Lilian Harvey	クリステル
	コンラート・ファイト	Conrad Veidt	メッテルニヒ
	リル・ダゴファー	Lil Dagover	伯爵夫人
	アデーレ・サンドロック	Adele Sandrock	
	アルフレート・アーベル	Alfred Abel	
	ユリウス・ファルケンシュタイン	Julius Falkenstein	
	パウル・ヘルビガー	Paul Horbiger	